

岡山学院大学・岡山短期大学



平成 29 年度 FD・SD ワークショップ実施報告

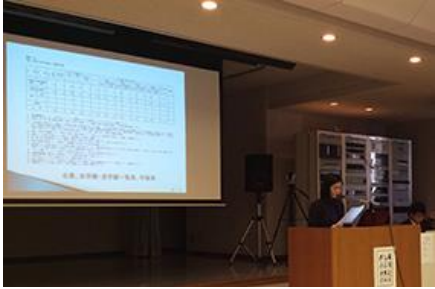


日 時： 平成 29 年 12 月 25 日（月） 9：10～15：00

場 所： 岡山学院大学・岡山短期大学 情報処理教育センター D302

評 価 員： 九州情報大学・山口短期大学 麻生隆史 理事長・学長

時 間	内 容
9：10～10：10	<p>岡山短期大学幼児教育学科 報告</p>  <p>平成 29 年度は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科の人材養成とエンロールメント・サポート 2. 学生支援の取り組み“退学者をゼロにしよう” 3. 授業参観から得た課題と改善計画 4. 授業アンケートの改善に向けた協議 5. SNS 利用トラブルへの対応及び指導のための基本的考え方 6. 「就職先訪問」および「学習成果に関するアンケート調査」から得られた課題と改善策 <p>を報告した。（15 分の質疑応答含む）（質疑応答後 5 分休憩）</p>
10：20～11：20	<p>岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 報告</p>  <p>平成 29 年度の食物栄養学科の FD 報告は、日本高等教育評価機構の認証評</p>

	<p>価において、「基準 2. 学習と教授」、「基準 4. 自己点検・評価」および「使命・目的に基づく大学独自の基準」の自己評価書に対して、評価団が指摘した事項について、改善を図ったいくつかの取り組みについての報告、及び、平成 28 年度に引き続いての C&A シートによる授業改善、平成 28 年度 2 年生への聞き取り調査の結果とその対応、栄養長寿教室および地域訪問栄養長寿教室の取組と見直しについて報告した。</p> <p>(15 分の質疑応答含む) (質疑応答後 5 分休憩)</p>
11:30~12:15	<p>岡山学院大学・岡山短期大学事務部 報告</p>  <p>平成 29 年度の SD は、4 月 17 日 (月)、5 月 15 日 (月)、8 月 21 日 (月)、11 月 13 日 (月)、11 月 20 日 (月) の計 5 回 SD 会議を実施してきた。今年度は 9 月に岡山学院大学で認証評価を受けたこともあり、全て認証評価に関する内容となった。</p> <p>第 1 回目に受審の手引きをもとに、受審の流れや必要な準備物等の確認を行い、第 2 回目では本学に関する理解を深めるとともに認証評価での 4 つの基準の内容について確認を行った。</p> <p>第 3 回目では、平成 31 年度に岡山短期大学で認証評価を受けるにあたり、評価基準の確認等を行った。</p> <p>第 4 回目では、岡山学院大学認証評価に特に携わった総務課、経理課、学務課の 3 部署において、各部署がどのように携わったか、今後の課題について発表した。その中で、直接認証評価に関わることのなかった職員の多くが自己点検報告書を読んでいなかったことが判明した。学長より、各自報告書を熟読することおよびその中から生じる疑問点や課題を見出し次回までにまとめること、との指示が出た。</p> <p>これを受け、第 5 回目に各自の意見を持ち寄り発表した。この場では各自の意見を出しただけで終了してしまったため、別途話し合いの場を設けて意見交換を行った。</p> <p>今年度のワークショップでは岡山学院大学の認証評価における各部署での取り組みと今後の課題、自己点検評価書から考える今後の課題について (1)学務課での取り組みと今後の課題、(2)経理課での取り組みと今後の課題、(3)総務課での取り組みと今後の課題、(4)自己点検評価書から考える今後の課題を報告した。(15 分の質疑応答含む)</p>
12:20~13:20	昼休憩
13:30~14:30	講演：SNSの闇と危機管理

講師：九州情報大学・山口短期大学 理事長・学長 麻生隆史 先生



SNS とは、共通の趣味を持つ人達との交流を目的としたサービスの総称である。日記やメッセージなどを通じて友人や知人・共通の趣味を持つ人達とインターネット上で繋がる。コメントやトラックバック機能などの機能を含むブログも広い意味では SNS である。

SNS のメリット

近年ではスマホやパソコンの普及により非常にプライベートな時間・空間で利用できるようになったため、効率的に人脈を増やすことが可能になり、SNS 上の友人が数百人から数千人という人も珍しくなくなってきた。

SNS のデメリット（SNS の闇）

SNS は多くのデメリットが存在。SNS 上で知り合った異性とトラブルになったり被害に合うという事件は、SNS に絡んだ事件として頻繁にニュースになる。リアルな関係に発展しなかったとしても、ネット上でしつこくメール（メッセージ）を送られたり自身のプライベートを執拗に詮索されるといったネットストーカー被害も懸念。

炎上・退会・SNS 疲れ

Twitter やブログでの不用意な発言などが元となり、不特定多数からの誹謗中傷を受ける「炎上」も社会問題化。炎上を恐れるあまり自身のアカウントを非公開設定にしたり、休止や退会に追い込まれるケースも増え、「SNS 疲れ」という用語がある。

SNS のメリットとデメリットを踏まえた危機管理

- ・ 位置情報（写真には GPS による位置情報が含まれている）に注意
- ・ 肖像権，著作権に注意
- ・ 言語表現による誤解を起こさないよう注意
- ・ スタンプは便利だが危険もあるので注意
- ・ SNS に関しては教職員より学生のほうが上手

情報倫理教育は必須

静止画による実例紹介

（講師の事例）

Facebook、Twitter、Instagram、YouTube

ネットに繋ぎ以下の実例も紹介

Facebook、Twitter、Instagram、YouTube

LINE（日本のユーザーが多い）

	<p>KaKaoTalk（韓国のユーザーが多い） 2ch（2ちゃんねる）</p>
14:30～14:45	<p>講演に対する質疑応答 現在、個人の Facebook で本学の紹介をしているが危機管理をどのようにしたらいいか？ 説明の通り、SNS のメリットとデメリットを踏まえた危機管理に徹することが重要である。</p>
14:45～15:00	<p>総括（学長 原田博史） 平成 29 年度は、大学も短期大学も例年の内容で纏めた感がある。したがって、特筆すべきところもなく、大きな課題や優れたところもなく難なく FD のワークショップを終えた感がある。 SD は大学自己点検評価を行うためのエビデンスの整理や、提出までの点検、手続きなど多様な経験を積むことができ、さらにはワークショップでのプレゼンテーションにあたり認証評価への関わりの振り返りを行うことで、平成 31 年度に受ける短期大学の認証評価のための自己点検・評価の実務が認識できたと感じる。</p>

岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 FD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学
氏 名 麻生隆史

平成 29 年 12 月 25 日の FD ワークショップは岡山学院大学岡山短期大学 FD (ファカルティ・ディベロプメント) 委員会規程に従って十分な内容であったかまた三つの方針・学習成果・点検・評価の方法などの観点から率直な評価をお願いします。

総評

本年度、岡山学院大学は高等教育評価機構の機関別認証評価を受けている。その評価結果はまだ出ていないが、評価時に指摘された事項に関する検証を行っている。CAP 制について単位の実質化に向けての取り組みを課題としているが、改善計画や行動計画を具体的に示す必要がある。GPA の活用については、GPA が低い学生に対する支援を全学的に取り組む体制が必要である。卒業生の就職状況調査については、今後の計画を示しているが、学習成果の修得状況を的確に分析し、いかに有効活用するのが課題である。

授業改善に関しては C & A シートを活用し、PDCA が確立してきているが、管理栄養士国家試験対策に関する専門的学習成果と汎用的学習成果の獲得を目指しよりいっそうのフォローが出来る体制を期待する。

前年度の課題として挙げられた一部の学生の満足度が低い点に関しての取り組みを行いその改善も見られるが教育課程編成・実施の観点からの改善策より明確に示す必要がある。

栄養長寿教室・地域訪問栄養長寿教室への取り組みは建学の精神や教育要綱を視野に入れて取り組んでいる。よりいっそうの成果の向上を期待する。

岡山短期大学幼児教育学科 FD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学
氏 名 麻生隆史

平成 29 年 12 月 25 日の FD ワークショップは岡山学院大学岡山短期大学 FD (ファカルティ・ディベロプメント) 委員会規程に従って十分な内容であったかまた三つの方針・学習成果・点検・評価の方法などの観点から率直な評価をお願いします。

総評

建学の精神や教育要綱に基づき幼児教育学科の人材養成を検証しているが、三つの方針との関連性をより明確にすることが望まれる。さらに、昨今では SNS の浸透による著作権・肖像権・個人情報等についての課題を認識している。これらを含めた法令順守を教育の中でいかに生かしていくかは重要な点であり、学生のみならず SD 活動により教職員も認識を深める必要がある。

学生支援に関しては、退学者ゼロを目標に取り組んでおり PDCA サイクルも有効に機能しているようであるが、その対応は全学的に取り組む方策を明確化されたい。さらにまだ取り組むべき課題があるので、学習成果を獲得する観点を取り入れた、よりいっその改善計画や行動計画が必要である。

授業参観から得られた課題と改善計画への取り組みは評価できるが、それが、ごく限られた範囲で実施されている。幼児教育学科全体の取り組みとして捉えていくことを期待する。

授業アンケートは、改善点の提案にとどまっている。より効果の高い行動計画を策定することが望まれる。

SNS トラブルの対応と指導は総評の冒頭で記述したとおり現状と課題を認識している。建学の精神に立ち返り、モラルや人権を尊重するという観点からのよりいっその検証を期待する。

就職先訪問・学習成果に関するアンケートは、それらを実施・検証することにより学習成果の一定の向上が見られ、教育の質保証に繋がっている。今後より多くの視点・観点を取り入れた実施手法を精査することが望まれる。

岡山学院大学・岡山短期大学事務部 SD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学
氏 名 麻生隆史

平成 29 年 12 月 25 日の SD ワークショップは岡山学院大学岡山短期大学SD（スタッフ・ディベロプメント）委員会規程に従って十分な内容であったか一般的な SD として十分な内容であったか率直な評価をお願いします。

総評

本年度、岡山学院大学が高等教育評価機構より機関別認証評価を受けるにあたり、事務部としての対応や課題がよくわかる報告であった。

事務部における学務課・経理課・総務課それぞれの視点での取り組みや今後の課題を認識している。これらの内容はただのデータ処理のみにとどまらず、建学の精神・教育目標・三つの方針・学習成果の獲得等を十分理解していないと対応できないものである。

認証評価におけるそれぞれの課におけるスタッフの認識は、非常に高いと感じる。大学・短期大学という機関全体としてSDに関する取り組みはSDの義務化以降大変重要である。事務部と大学教員とのより有機的連携により、FD・SD活動が充実したものになる。そのためには学校法人を含め、大学・短期大学全体の意思疎通を深め、教職員全体が一体となって取り組む必要がある。

本年度の課題を踏まえて、平成31年度に岡山短期大学が短期大学基準協会から認証評価を受けるにあたっての良き指標になることを期待する。